特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム



団体概要 | 第 14 期活動記録

2017年9月

#NSP Japan Nice Again!

1. ご挨拶 来年度に向けて

みなさま、こんにちは。認定 NPO 日本再生プログラム推進フォーラム (NSP) 理事長の藤原直哉です。平素は当法人の活動にご賛同、ご参加くださいまして大変ありがとうございます。みなさまのおかげをもちまして、当法人も順調に活動の幅を広げております。

ふり返ってみますとこの1年は国内外の体制が一転した状況でした。昨年7月に英国で行われた国民投票で突如として英国のEU離脱が決まり、11月には主要メディアの予想を覆して共和党のトランプ大統領が、インターネットで選ばれた最初の米国大統領として登場。そしてその後の米英首脳会談では、もはや世界の主権国家に英米の価値観を押し付ける時代は終わったと歴史的な宣言。年が明けてトランプ大統領は就任式の冒頭でワシントンから権力を取り戻すと宣言。実際にその後の米国と世界を見てみると、米議会、金融市場、外交、戦争いずれの側面でもそれまでの米国の力が急速に減じて、片方から見れば混沌と崩壊、しかしもう片方から見ればワシントンから権力を取り戻すという宣言どおりのことが日々進行中です。

さらに今年は韓国で2代続いた右翼政権が国民運動の盛り上がりで崩壊。中東ではアラブ首長国連邦やサウジアラビアの秘密外交がデータの漏えいで暴露され、イスラエルもこの夏、ふとしたきっかけで起きた神殿の丘事件でイスラム側によもやの全面降伏。ロシアの存在感が全世界で増すなかで、北朝鮮は米国に対して強硬姿勢を強めて新型ミサイルを次々に発射。その結果北朝鮮危機が起きて金融市場ではそれを材料によもやドル安株安。日本でも森友・加計疑惑が新しい情報暴露でますます国民の関心を集めて、安倍内閣の支持率が急落。

こうしてこの1年の内外情勢は、今までの常識では全く理解できない、目に見える体制転換が日々進行中であることを、誰も否定できない形でわれわれに示す結果になりました。およそこうした巨大な変化の胎動は30年近く前のソ連崩壊時から起きていて、それが次第に大きなうねりになって今の国内外を動かしています。そのなかで当法人は観光立国、農業立国の推奨から始めて、新しい時代の国と国民の進むべき道をボトムアップの国民運動という形でずっと日本全土に広げ続けてきました。その結果、確かに目の前の状況は緊迫していますが、どこか未来に対して光が見える、ある意味で冷静にこの難局を乗り越えられるのではないかと思う地域や人があちこちに出てきた、それは実に喜ばしいことであり、当法人としてもそれなりに貢献ができたところだと自負しております。

今年度(NSPの事業年度は10月から9月まで)の当法人は各地のたまり場の活動が引き続き進化し、新たなメンバーも加わって、さらに一層それぞれの方向性で仲間の結束と学習、経験の進化が進みました。また毎月行っている時局講演会はインターネットでもすぐに公開して、多くの人たちに上述の大変な変化の状況を理解していただくことができるようになりました。さらにその後に行われております毎月のゲストを招いた講演会、そして7月の全体集会ではすばらしいゲストをたくさんお呼びして、普段聞くこ

とができないお話を中心に、このすごい時代にこれだけ努力している方がおられるのだ ということを、みんなで学ばせていただきました。

さらに今年度はこの先の日本の方向性として健康立国の推進を打ち出しました。ストレスのない職場、病気にならない生活、安心できる社会インフラの3本柱で未来の日本を建設的に創造していこうという提言で、埼玉、山梨の県知事、名古屋、浜松など政令市の市長、平均寿命日本一の長野県北安曇郡松川村の村長にインタビューを行い、国および各自治体もそれぞれの発想をもって今後健康立国の推進に向けて本格的に舵を切っていこうとしています。さらに民間の学校法人の理事長、健康増進の仕事をしておられる経営者、健康につながる研究をしておられる研究者のみなさんにもインタビューを行い、より幅広くボトムアップで健康立国が広がるように日々努力しております。

こうした状況を踏まえて来年度は、引き続き各地のたまり場活動を積極化させ、毎月 の講演会や集会をより充実させると同時に、みなさんのご要望が強い地方での講演会や 集会の開催に努力していきたいと思っております。さらに健康立国推進に向けてはさら に各方面でのインタビューを広げ、関係する集会やイベントができればと思っておりま す。

会員のみなさんにおかれましてはこうした当法人の活動をより深くご理解いただき、 積極的にご参加いただければと思います。そして一人でも多くの方を会員にお誘いいた だけたら幸いです。

また、いつものお願いで恐縮ですが、特に講演会や集会を地方で行うことになりますと旅費などの経費がかかってまいります。大口のご寄付をいただける方がおられましたら、大変ありがたく思いますのでどうぞ事務局までお知らせください。当 NPO は認定法人ですので、法人および個人のご寄付に対しては税額控除などの特典があります。

本当にわれわれはいま、歴史の巨大な変化の真上に立っています。この先の新しい未来をより明るくあたたくするために、みなさんで力を合わせてまいりましょう。

どうぞ引き続きよろしくご指導、ご鞭撻、ご協力、ご参加くださいますよう、心から お願い申し上げます。

> 2017年9月吉日 認定 NPO 日本再生プログラム推進フォーラム 理事長 藤原直哉

2. NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介 2017 年 8 月 1 日現在

<正式名称>

特定非営利活動法人日本再生プログラム推進フォーラム(通称 NSP)

<事務所・事務局連絡先>

主たる事務所:東京都墨田区両国3丁目25番5号 JEI両国ビル3階

事務局連絡先: TEL | 03 - 3633 - 8631 FAX | 03 - 6866 - 8614

E-mail | staff@nipponsaisei.jp

<発足・設立> 平成 15 年 (2003 年) 10 月 16 日

<登記>

平成 15 年 (2003 年) 10 月 16 日 内閣府認証 NPO 法人登記 (会社法人番号 | 0210 - 05 - 006588) 平成 25 年 (2013 年) 11 月 13 日 認定 NPO 認定通知書の番号 | 25 生都管第 2083 号

<役員構成>

理事長 藤原直哉(経済アナリスト、株式会社あえるば 代表取締役会長)

理 事 榎本恵一(税理士法人恒輝 代表社員) 理事兼事務局長 永井洋子(永井洋子税理士事務所 所長)

理 事 三上靖彦 (株式会社ミカミ 代表取締役)

理 事 山中茂樹 (アクトイット株式会社 代表取締役)

理事佐藤茂則(有限会社ミック研究所所長)

監事 鬼澤慎人(株式会社ヤマオコーポレーション 代表取締役)

相談役 高橋栄作(当 NPO 前事務局長)

<会員情報> 会員総数:570名

個人正会員 284 名 | 法人正会員 40 名 | 個人賛助会員 218 名 | 法人賛助会員 28 名

<活動の基本構想>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム (通称 NSP) では、わが国の経済が「内需中心の持続的経済成長によって」活性化するためには、新しい思想と技術のもとに日本の都市計画を抜本的に作り直し、まったく新しい日本の都市と田舎を作り直すことが必要だと考えています。

そしてその過程で生まれる 21 世紀の新しい技術やノウハウ、製品が国際競争力の源となり、持続的な内需中心の経済成長の根源的エネルギーになると考えています。 同時に日本各地固有の産業とライフスタイルを大いに振興させて、あらゆる地域の活力がみなぎらなければならないと考えます。

私たちは、日本の経済を活性化させるために、内需中心に十分に雇用があり、地方の繁栄、高齢化への対処、国際競争力の向上、温暖化問題への対処が同時に達成できるまったく新しい経済の枠組みを創造し、提言することを通じて、日本全体のあらゆる活力を高めるための活動を実践しています。

3. 活動方針

NSP の目指す日本経済の再生をひとことでいえば、「温故知新で生まれる 21 世紀の経済」です。それを実現する戦略をひとことでいえば、「戦略的低エネルギー社会の実現」です。

NSPではかつて、日本経済再生の具体的戦略として観光立国、新しい農業を提案し、 実際にそれが政策となって今や日本全国に観光と農業の新しい動きが広がっています。 今回は、それらを統合した本格的な提案として日本経済の再生を総合的かつ戦略的に 行っていきます。

<具体的活動方針>

- 1. 健康で持続可能なライフスタイル (ロハス) を広く浸透させることで戦略的低エネルギー社会を日本で実現し、それを基盤にした 21 世紀の偉大なる共生社会を構築するためのさまざまな研究、実践、政策提言
- 2. そうした新しい日本を創るために必要となる戦略的なポイントを各研究会によって深く掘り下げて研究し、未来を創造するひな型を創る
- 3. 健康で持続的なライフスタイルの構築を目指す人々や諸団体との連携
- 4. こうした成果を広く世の中に啓蒙するための勉強会、講演会、見学会、芸術活動の実施
- 5. インターネット放送を活用して健康と持続可能性の高い生活や仕事をしている 人たちを多くインタビューして、相互の連携を強化し、新しい時代を担う人た ちを浮かび上がらせる

<活動内容>

- 1. 各たまり場及び当 NPO の主催による勉強会、研究、講演、見学会の実施
- 2. 芸術家との連携による芸術活動
- 3. 農園等を活用した健康で持続可能なライフスタイルの実践活動
- 4. 時局に対応した政策提言活動
- 5. 地方における勉強、啓蒙活動

4. 活動報告

1. 総会

NSP 第 14 期 総会

日時:2016年10月15日(土)10:30~

場所:インペリアル貸会議室

(東京都渋谷区代々木 1-60-11 東興本社ビル 7F)



2. 理事会

	開催日付	開催会場	
第 1回	2016年 10月 15日(土)	インペリアル貸会議室	
第 2回	2016年 11月 7日(月)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 3回	2016年 12月 12日(月)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 4回	2017年 1月 13日(金)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 5回	2017年 2月 20日(月)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 6回	2017年 3月 16日(木)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 7回	2017年 4月 17日(月)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 8回	2017年 5月 19日(金)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 9回	2017年 7月 6日(木)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	
第 10 回	2017年 9月 11日(月)	NSP 主たる事務所 (税理士法人恒輝内会議室)	

3. NSP フォーラム 2017

日時:2017年7月8日(土)13:30~18:00

場所: ワテラスコモンホール (東京都千代田区神田淡路町 2-101 ワテラスタワー3F)

プログラム:

第1部 | 基調講演「ヨコに手をつなぐ 21 世紀社会」藤原直哉 (NSP 理事長)

第2部 | 特別講演「悩みながら前を向く〜パラリンピックが私にくれたもの〜」 鈴木ひとみさん(ユニバーサルデザイン啓発講師・パラリンピック日本代表 | 射撃)

第3部 | 記念対談「全員参加型の世の中へ元気が出るメッセージ」

鈴木ひとみさん・藤原直哉理事長・榎本恵一理事(進行役)

(参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム)全体司会:田寺尚子さん



4. 時局ならびに日本再生戦略講演会 10:30~17:00

2015年より毎月1回、日本再生の総合戦略について時事の動きと日本再生戦略を照らし合わせながら、講演と検討会を開いています。

<第 17 回 2016 年 11 月 19 日 (土) Wesley Center 青山>

午前の部 | 時事解説・時局分析「動乱の幕開けー米大統領選挙後の世界と日本ー」 藤原直哉 (NSP 理事長)

午後の部|

- ・場づくりと人づくりが未来を創る 鬼澤慎人 (NSP 監事)
- ・東ティモールでの酵素水を使ったバイオトイレの報告 山中茂樹 (NSP 理事)



<第 18 回 2016 年 12 月 17 日 (土) あすか会議室>

午前の部 | 時事解説「本物の動乱が始まった」藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部 | 時局分析・日本再生戦略 藤原直哉 (NSP 理事長)

- ・経済・経営のパラダイムシフトー脱・構造改革時代の経済と経営のパラダイムー
- ・ボトムアップで進める地域振興一脱・構造改革時代の地域振興一
- ・これからの時代の生きがい一脱・構造改革時代の人の生きがい一

<第19回 2017年1月14日(土)アットビジネスセンター東京駅>

午前の部 | 時事解説・時局分析「トランプ大統領の登場で何が変わるか」 藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部

- ・老後ひとりぼっち時代を上手に生きるコツ 松原惇子さん(ノンフィクション作家・元気の配達人)
- ・対談 松原惇子さん・藤原直哉理事長 参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム

<第20回 2017年2月18日(土)東京国際フォーラム ガラス棟会議室>

午前の部 | 時事解説・時局分析「動乱が広がる世界情勢」 藤原直哉 (NSP 理事長)

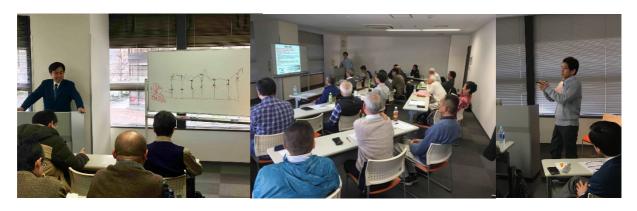


午後の部 |

- ・「健康経営について」考える 阿部重利さん(ヒューマネコンサルティング株式会社 代表取締役・NSP 個人正会員)
- ・わが国の財政問題を皆さんと学ぼう 榎本恵一(NSP理事)

<第21回 2017年3月4日(土) アットビジネスセンター東京駅>

午前の部 | 2017 年 3 月時事解説・時局分析 藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部|

- ・ふるさと原理主義~浪漫主義的歴史観・幕末の水戸編~ 三上靖彦 (NSP 理事)
- ・藤原理事長・三上理事・参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム

<第22回 2017年4月22日(土)アットビジネスセンター東京駅>

午前の部 | 時事解説・時局分析「激動が日本に上陸」藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部|

- ・東北の春を語る 矢部亨さん (茶匠 矢部園茶舗 代表取締役)
- ・矢部さん・藤原理事長・永井理事・参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム

<第23回 2017年5月20日(土)アットビジネスセンター東京駅>

午前の部 | 2017 年 5 月時事解説・時局分析 藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部|

- ・健康立国とこれからの世の中 藤原直哉 (NSP 理事長)
- ・未来を創るこれからの働き方・生き方 | 講演・パネルディスカッション 中村龍太さん 複業家 (サイボウズ株式会社、NK アグリ株式会社) 黒田悠介さん 文系フリーランス 木下紫乃さん 株式会社ヒキダシ 代表取締役
- ・参加者の皆さんを交えて「これからの働き方」についてのダイアログ 山中茂樹理事(進行役)

〈第24回 2017年6月10日(土)アットビジネスセンター東京駅〉

午前の部 | 2017 年 6 月時事解説・時局分析 藤原直哉 (NSP 理事長)



お茶の提供 | 長野県南信州遠山郷(木沢地区)で栽培された美味しいお茶・環境保全のお茶

午後の部|

- ・町工場の挑戦! 浜野慶一さん (株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO)
- ・浜野さん・藤原理事長・榎本理事・参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム



<第25回 2017年8月19日(土)東京国際フォーラム ガラス棟会議室>

午前の部 | 2017 年 8 月時事解説・時局分析 藤原直哉 (NSP 理事長)



午後の部

- ・働き方改革と人と組織の在り方 小林富佐子さん(特定社会保険労務士・行政書士・産業カウンセラー・NSP 個人正会員)
- ・小林さん・藤原理事長・佐藤理事・参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム

<第26回 2017年9月23日(土)東京国際フォーラム ガラス棟会議室>

午前の部 | 2017 年 9 月時事解説・時局分析 藤原直哉(NSP 理事長) 午後の部 |

- ・健康立国宣言 安心できる社会インフラづくり 〜明治百五十年の反省を踏まえて〜 三上靖彦 (NSP 理事)
- ・藤原理事長・三上理事・参加者の皆さんからの質問を交えた対話・シェアタイム

5. 健康立国

NSP 第 14 期テーマ | 次世代への継承ー健康立国宣言ー

く日標>

・健康イノベーションで国民の健康を大幅に増進させ、今後10年間に租税負担率と社会保障負担率を合計した国民負担率を現在の3分の1にする。

(平成27年の国民負担率は過去最高の43.4%)

・さらに健康イノベーションを展開することで、健康で持続可能性の高い新時代の 日本の国際競争力を高める。



く健康イノベーション、3本の柱>

1. ストレスのない職場

- 多くの疾病や不調は職場のストレスが生んでいる。
- 新時代にふさわしい経営革命と働き方革命を通じて、職場のストレスを抜本 的に減らす。

2. 病気にならない生活

・いかに健康を増進し、病気にならないかの実践的方法をあらゆる分野の知恵 やイノベーションを駆使して確立し、国民全体でそれをシェア(共有)し、 実践していく。

3. 安心できる社会インフラ

- ・本格的な健康の増進には安心・安全の衣食住空間が必要であり、それをサポートする新しい社会インフラが必要である。
- ・資源、エネルギー、交通、通信、土地利用、都市計画、産業、教育研究、職場、住宅、生活など、あらゆる社会インフラを健康増進の目的に向けて、斬新なイノベーションを駆使して再構築していく。

<健康立国対談>

第1回 | 2016年11月7日 | 心と体のハッピートレーニング

桒源禮光さん (健康を守る市民の会 会長)・藤原直哉理事長

第2回 | 2016年11月23日 | 健康とは

土橋重隆さん(土橋クリニック 院長)・榎本恵一理事

第3回 | 2016年12月16日 | 健康立国とは

三輪晴治さん (ベイサンド・ジャパン株式会社 代表取締役)・藤原直哉理事長

第4回 | 2017年1月17日 | 健康寿命日本一

鈴木康友さん (静岡県浜松市長)・藤原直哉理事長

第5回 | 2017年3月6日 | 意外に強いぞ日本

上田清司さん(埼玉県知事)・藤原直哉理事長

第6回 | 2017年3月13日 | 脳波でわかる人の感情とストレス

満倉靖恵さん (慶応義塾大学理工学部 准教授)・藤原直哉理事長

第7回 | 2017年4月9日 | 日本の伝統医療で国際貢献

後藤修司さん(学校法人後藤学園 理事長)・藤原直哉理事長

第8回 | 2017年6月18日 | 健康立国増進に向けて

後藤斎さん(山梨県知事)・藤原直哉理事長

第9回 | 2017年7月10日 | 男性の平均寿命日本一・長野県北安曇郡松川村から

平林明人さん(長野県北安曇郡松川村村長)・藤原直哉理事長

第10回 | 2017年7月18日 | 健康立国推進に向けて名古屋市はこう変わる

河村たかしさん (愛知県名古屋市長)・藤原直哉理事長

<健康立国インタビュー>

第1回 | 2016年12月27日 | NSP 会員さんこんにちは(1)

向山邦史さん(公認たまり場第7号 | 新月の五風十雨代表)

第2回 | 2017年1月5日 | NSP 会員さんこんにちは(2)

増山晃一さん(注文焙煎の店、喫茶 Mon 店主・NSP 個人賛助会員)

第3回 | 2017年4月16日 | NSP 会員さんこんにちは(3)

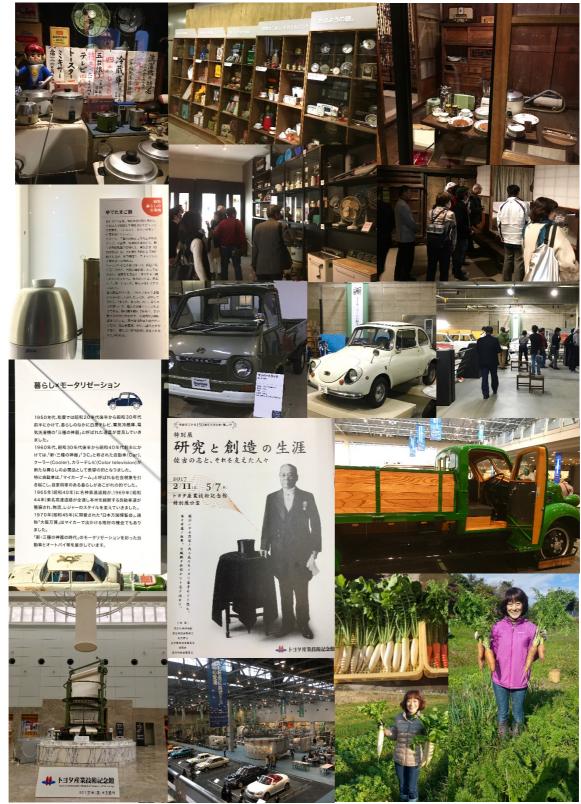
依田孝吉さん (株式会社ライフスタイル総合研究所・NSP 個人正会員)

6. 視察

<NSP懐かしい未来を語り合うツアー@名古屋>

日時: 2017年3月18日(土)12:00~20:00

- ・昭和日常博物館(北名古屋市歴史民俗資料館)館内見学 | 地域回想法ミニ講話 | 藤原理事長講話 | 参加者同士対話
- ・トヨタ産業技術記念館見学
- ・名駅3丁目界隈旧家改装エリア歩き
- ・NSP 法人賛助会員のプラネット農園 | 杉本貴子さんご講話 4 年前の NSP 版ダボス会議@両国からプラネット農園のこれまでと今後について



<歴史の中から未来が見えてくる京都春ツアー>

日時: 2017年4月1日(土)9:40~4月2日(日)15:00

- ・京都御所参観(宮内庁職員さんからのガイドツアー参加) 御車寄 | 諸大夫の間 | 新御車寄 | 回廊 | 建礼門 | 承明門 | 紫宸殿 | 南庭 | 経春門 春興殿 | 清涼殿(年中行事障子) | 小御所(防災のお守りの蝉) | 蹴鞠の庭 御学問所 | 御池庭 | 御常御殿 | 御内庭 | 御三間
- 醍醐寺拝観

理性院 | 三宝院下醍醐 (霊宝館・仁王門・五重塔・弁天堂)



- ・伝統工芸講演『鏡づくりの山本家と青銅鏡(和鏡・魔鏡)の歴史』 山本富士夫氏(株式会社山本合金製作所 取締役)
- ・歴史が動く、未来が開く 藤原直哉 (NSP 理事長)
- ・時事解説・時局分析 藤原直哉 (NSP 理事長)



7. その他の事業

<カレンダー販売>

「エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル」の普及啓発を目的に製作した NSP 絵巻カレンダーを前年度に引き続き、製作しました。

NSP 絵巻カレンダー2017 (500 円/冊) を amazon.co.jp にて販売しました。



8. 公認たまり場

く背景・目的>

NSP が各研究会 (*) などを通じて提案してきな各方面での日本再生への道筋は、ロハス・観光・農業はもちろんのこと、民政自治・新しい地方都市の形態の摸索・エネルギー源の多様化、若者のヨコ型リーダーシップ、メンタルヘルスの重視、組織を抜け出す自由人の増加、中小零細企業の活性化、先端分野への投資の必要性の強調などさまざまな分野で広がっており、民衆レベルから始まるボトムアップの日本再生は、あまり積極的にメディアで報道されなくても、静かにしかし深く日本の隅々にまで浸透しつつあるところであります。NSP が考え、目指している方向へ実際に日本は動いていると言ってよい段階に来ました。

このような状況を踏まえ、NSPでは2015年(平成27年)10月からの第13期より新しい運営方法を採用しました。具体的には、日本再生に向けての戦略的分野の研究が中心であった今までの研究会(*)は終了し、個人・法人正会員・賛助会員が中心となって「たまり場」を立ち上げ、NSPの運営の主体を研究会から「たまり場」に移行しました。

「たまり場」では、ディスカッション・勉強・研究・発表活動・社会貢献活動・見学・モノづくりなど、自由に活動を展開されています。これにより、NSPをより広く多くの人が参加できる日本再生国民運動の場に育て上げています。

運営: NSP 第13期(2015年10月)より

公認:立ち上げた「たまり場」を「NSP公認たまり場」としての認定

参加:どのたまり場もご自由にご参加いただけます。



(*) 地域のひな型研究会・都市再生研究会・組織のリーダーシップ研究会・ 中小零細企業研究会・スピンアウト研究会・LOHAS ジャパン研究会・

NSP 投資銀行研究会 https://nipponsaisei.jp/g

(理事・監事が各研究会の中心となり、会員の皆さんとともに活動していました)

世はまさしく民政自治・地方創生の時代です。

各地域や同じ目的をもった同士の方達で立ち上げられた NSP 公認たまり場・ 第14期は、次の9団体です。

	名称	活動拠点	代表者
第1号	人と組織と心研究会	東京近郊	佐藤茂則
第2号	多摩黒川農園たまり場	多摩黒川	嶋崎剛志
第3号	SVC ソーホーバレーコモンズ	東京近郊	依田孝吉
第4号	名古屋地域再生研究会	愛知	久志公洋
第5号	たまり場福岡 横の繋がり	福岡	高橋英治
第6号	中小企業の経営資源とハピネス研究会	主に関東	阿部重利
第7号	新月の五風十雨	山梨	向山邦史
第8号	鹽竈の光を観る旅	宮城鹽竈	樋口敬子
第9号	ソーシャルデザイン研究会	主に東京・茨城 (笠間)・岡山	山中茂樹

<2016 たまり場アワード>

各公認たまり場の活動状況・実績(開催頻度・活動内容など)をもとに、理事会にて審査決定しました。

2016 たまり場アワード受賞 | 公認たまり場第7号 新月の五風十雨

(第14期総会イベントにて、発表・表彰)



<第1号 人と組織と心研究会> 活動拠点:東京近郊 代表者:佐藤茂則

公認たまり場第1号の「人と組織と心研究会」の活動は、定款に基づき「社会教育の推進を図る活動」等を目的に、さらに、健康イノベーション3本の柱の内の「ストレスのない職場づくり」に焦点を当てて2017年も活動を展開しています。昨年はマインドアップリーダー養成を軸に活動をしてきましたが、メンバー全員がマインドアップリーダーとして認定され、今年度は各自の特異性を生かして回を重ねています。

2017年の活動の内容 (回数は昨年からの通算です)

第 11 回 平成 28 年 12 月 11 日 14:00~16:30 2016 年総括

第12回 平成29年 2月12日14:00~16:30 人口動態と社会変化(担当:佐藤)

第13回 平成29年 3月10日14:00~16:30 女性のためのキャリアップ(担当:下枝)

第 14 回 平成 29 年 5 月 14 日 14:00~16:30 コミュニティ時代の過ごし方(担当:藤川)

第15回 平成29年 6月11日14:00~16:30 人と技術の共生(担当:久田)

第 16 回 平成 29 年 7月 8日 2017 年フォーラム参加

第17回 平成29年 8月19日 定例時局講演会にてメンバーの小林富佐子さんが

「働き方改革と人と組織のあり方として話します。

毎回メンバーそれぞれの専門分野において豊富な資料に基づき中身の濃い内容となっています。

このメンバーと一緒に研究することの誇りと毎回の楽しさを感じています。

ストレス問題に終わりはありませんが、引き続き研究を重ねながらより良い社会づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。

写真はメンバーの3月と7月に出された出版物です。



〈第2号 多摩黒川農園たまり場〉 活動拠点:多摩黒川 代表者:嶋崎剛志

みなさん、こんにちは!スピンアウト研究会です。

早いもので、多摩黒川農園に移転してから、5回そら豆を作りました。そして、 今年の10月28日(土)に6回目のそら豆の種を植え付けます。

よくここまで続いたと思います。これも、永井先生とスピンアウト研究会の仲間 たちのおかげです。

最初は、スピンアウト研究会の仲間やせいぜい NSP メンバーだけの集まりだったのが、今では全く異なる 3 グループ同時の畑での宴会になったり、仲間が仲間を呼んできての交流となったり、まさに超「たまり場」の様相を呈してきました。

これからどのように発展していくか楽しみです。



一方、畑としては一段落の感があります。最初は自分たちの畑が借りられて興奮 してましたが、面積が増えるにつれ、草刈りなどの負担が重くなり次第に辛くなり ました。

漸く防草シートの活用により草刈りから解放された今、今後はもう一段上の発展を目指します。

題して、黒川リゾート計画です。

より多くの方に農園の楽しさ、清々しさを感じていただくとともに、私たち自身 が農園で最高の時間を過ごせるように、設備を改善・充実させていきます。

美しい畑から美味しい作物が採れます。

清潔で居心地の良い空間に、良い仲間が集まり、イノベイティブな時間が流れます。このたまり場から、日本を再生するアイディアとアクションが飛び出す日も近いと感じてます!

<第3号 SVC (Soho Valley Commons) ソーホーバレーコモンズ**>**

活動拠点:東京近郊 代表者:依田孝吉

1. たまり場の活動目的と具体的な活動概要

SVC (Soho Valley Commons)「ソーホーバレーコモンズ」は、地元を愛する人々の共感から生まれた街づくり構想です。

時が築き上げてきた大切な歴史を受け継ぎながら、さらにもっと快適な「私たちの街」を創り出そう、自分たちの街を、自分たちの手で…。

こうした心が集まりふくらんだつぼみが SVC のコモンズ構想です。

2. たまり場 定例会

- ・定例会の開催日時は毎月第三水曜日 18:30~21:00
- ・経済アナリストの藤原直哉さんによる政治、経済など、最新時局のお話
- ・新規事業コンサルタントの高島健一さんによる最新ビジネス、最新オープン 店のお話
- ・参加者によるお話、情報交換
- ・懇親会は21:15~22:45

3. 「やまとごころ」勉強会

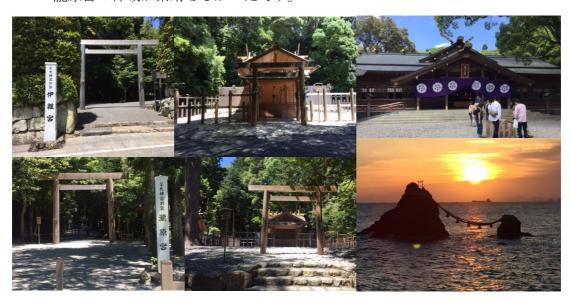
日本人の心のふるさとである神社を参拝しています。

- ・2016年10月8日~9日麻賀多神社 | 猿田神社 | 息栖神社 | 鹿島神宮 | 側高神社 | 香取神宮 | 大戸神社千葉、茨城県の神社参拝とヤマサ醤油工場、犬吠埼展望台見学
- ・2017 年 1 月 8 日 布多天神社 | 大國魂神社 | 高幡不動尊金剛寺 | 小野神社 | 京王線沿線神社を参拝

·2017年5月27日~28日

伊勢神宮正宮(外宮・内宮) | 伊勢神宮別宮(外宮・内宮) | 猿田彦神社 | 佐瑠女神社 | 二見興玉神社 | 竜宮社 | 金剛證寺 | 伊勢神宮の正宮二宮、別宮十四宮他を参拝

朝4時起床にて、二見興玉神社の夫婦岩からの朝日を拝観 瀧原宮の神域が素晴らしかったです。



4. 今後の活動計画

- ・定例会の開催日時は毎月第三水曜日 18:30~21:00 です。
- ・「やまとごころ」勉強会も不定期ですが年に3回程開催します。 次回の「やまとごころ」勉強会は10月に江島神社、箱根神社、九頭竜神社を 参拝予定です。

〈第4号 名古屋地域再生研究会〉 活動拠点:愛知 代表者:久志公洋

1. 毎月1回の「名古屋のたまり場」開催

名古屋のたまり場は基本的に毎月 20 日過ぎの水曜か木曜日の夜に開催しております。事務所のスペースを会場にしたり、名古屋駅西の居酒屋などを会場にして、集まった人たちでわいわいがやがや、お酒を飲みながら、意見交換などしております。最近では、三重県、静岡県、長野県からわざわざ参加してくださる方もみえます。名古屋農楽倶楽部で田んぼや畑体験に参加してくれている一般の方が参加される場合もあります。

2. 名古屋農楽倶楽部

愛知県犬山市羽黒地区に水田約3反と畑約1反を借りて無農薬無化学肥料による安心安全なお米・野菜作りを行っています。一般の方の参加も呼びかけ、毎回たくさんの子どもたちを含めた家族の方々に参加いただいております。田植えや稲刈り体験では、インターネットからイベント開催を知って来られた方

も含め、総勢 50 名以上のイベントとなっております。こうしたイベントを通して子どもたちに食べ物がどうやってできていくかや、安全な食べ物の大切さを感じとってもらえればと思っております。



3. 活動履歴

2016年 9月21日(水)名古屋のたまり場

2016年 10月 20日 (木) 名古屋のたまり場

2016年 10月 22日 (土) 名古屋農楽倶楽部 稲刈り

2016年 10月23日(日)名古屋農楽倶楽部 稲刈り体験イベント(一般参加)

2016年 11月 6日(日)名古屋農楽倶楽部 収穫祭(一般参加)収穫

2016年 11月 25日 (金) 名古屋のたまり場

2016年 12月11日(日)名古屋農楽倶楽部

犬山オーガニックマルシェにて漬け物・野菜販売

2016年 12月 21日(水)名古屋のたまり場・名古屋農楽倶楽部 忘年会

2017年 1月25日(水)名古屋のたまり場

2017年 2月23日(木)名古屋のたまり場

2017年 3月23日(木)名古屋のたまり場

2017年 4月27日(木)名古屋のたまり場

2017年 5月14日(日)名古屋農楽倶楽部 収穫イベント インゲン豆 (一般参加) 及び畑クラブ・貸し農園会員募集開始

2017年 5月24日(水)名古屋のたまり場

2017年 6月11日(日)名古屋農楽倶楽部 田植え体験イベント(一般参加)

2017年 6月18日(日)名古屋農楽倶楽部 収穫イベント ジャガイモ (一般参加)

2017年 6月22日(木)名古屋のたまり場

2017年 7月26日(水)名古屋のたまり場

4. 今後の活動予定

引き続き毎月の名古屋のたまり場開催

- ・10月21日(土)7:00~16:00 収穫(稲刈り・はざ掛け)
- ・10月22日(日)9:00~15:00 収穫(稲刈り・はざ掛け)(一般参加)
- ・10下旬(日)10:00~12:00サツマイモ収穫体験
- ・11月5日(土)6日(日)7:00~16:00 脱穀・籾すり
- ・11 月中旬~下旬(日)10:00~12:00 サトイモ収穫体験(一般参加)
- 12月~3月 田おこし(微生物を使った土づくり)

<第5号 たまり場福岡 横の繋がり> 活動拠点:福岡 代表者:高橋英治

1. 活動目的と概要

- (1) ロハスな活動をしている個人・企業・組織への訪問、紹介、連携を通し 地域の活性化と連帯を図る
- (2) 御用達経済の促進
- (3) 横型リーダーシップの研究・実践をし、地域の横のネットワークを築く
- (4) 福岡藤原塾のお世話

2. 活動内容と活動履歴

平成 28 年 10 月 1 日	宗像の「みあれ祭」を見学		
	・ユネスコ世界遺産登録候補地の研究		
	・2月に「宗像大社他」の見学を計画		
平成 28 年 10 月 9 日	大分県玖珠町の見学		
	・たまり場メンバーの合原氏の自宅などを見学、懇談		
	(造り酒屋跡、温泉地、里山の再利用など)		
	・日田市の林業企業を訪問		
平成 28 年 11 月 4 日	福岡藤原塾のお世話		
平成 28 年 11 月 5 日	権藤成卿の「自治民政理」の勉強会を開催		
	(ロハス梅林たまりば)		
	・藤原先生を講師に勉強会を開催		
	・権藤一族の木村聡子氏も参加		
平成 28 年 11 月 24 日	たまり場の役員会を開催		
	・魚宴のオーナーに「宗像 大島」の話や御用達経済の		
	事で懇談		
平成 28 年 12 月 9 日	たまり場福岡横の繋がり設立1周年記念月例会運		
	営委員会開催		
平成 29 年 1 月 13 日	たまり場福岡月例会開催		
平成 29 年 2 月 3 日	福岡藤原塾のお世話		
	・NSP 事務局より樋口敬子さん広報参加		
平成 29 年 2 月 4 日	「御用達、横型リーダーシップ」の勉強会開催		
	(ロハス梅林たまりば)		
	・藤原先生を講師に勉強会を開催 昼食時にピザ窯でピ		
	ザなどを焼いてロハスを体験		
	・NSP 事務局より樋口敬子さん取材参加		
平成 29 年 2 月 18 日	宗像大社など「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺		
	産群を巡るツアーを開催		
	・宗像大社、氏八幡社、興聖寺、鎮国寺などを訪問見学		
	・ユネスコ世界文化遺産国内推薦候補地について勉強		
平成 29 年 3 月 10 日	たまり場福岡月例会と運営委員会を開催		
平成 29 年 3 月 18 日	「NSP懐かしい未来を語り合うツアー@名古屋」		
	に参加(森田)		

平成 29 年 4 月 1 日~2 日	「歴史の中から未来が見えてくる京都春ツア	
	一」に参加(森田)	
平成 29 年 4 月 14 日	たまり場福岡月例会と運営委員会を開催	
平成 29 年 4 月 26 日	たまり場福岡役員会開催	
平成 29 年 5 月 12 日	福岡藤原塾のお世話	
平成 29 年 6 月 9 日	たまり場福岡月例会	
平成 29 年 7 月 1 日	ビジネスゲーム「村祭り IN 大阪」に参加	
	(森田)	
平成 29 年 7 月 8 日	NSP フォーラム 2017「ヨコに手をつなぐ 21	
	世紀社会」に活動写真集 3 冊で参加	
平成 29 年 7 月 14 日	たまり場福岡月例会	
平成 29 年 8 月 4 日	福岡藤原塾のお世話	
平成 29 年 8 月 5 日~6 日	大分県玖珠町の「ロハス玖珠たまりば」を藤	
	原理事長と視察(森田、曽川)	
	・たまり場メンバーの合原さんの自宅その他を見	
	学、勉強会(造り酒屋跡、温泉地、里山の再利用	
	など)	
	・「ロハス玖珠たまりば」の活動を支援	
	・その他九州北部豪雨の朝倉市杷木地区、日田市	
	の災害現場を訪問、大分玖珠町で林業の専門家に	
	林業の現状と災害との関係についてレクチャーを	
	受ける	
平成 29 年 9 月 8 日	たまり場福岡月例会	
平成 29 年 9 月 16 日~18 日	長野県遠山郷を訪問	
	・藤原理事長や現地の方と交流して、ロハスや町	
	興しなどについて体験をする (森田、合原)	





<第6号 中小企業の経営資源とハピネス研究会>

活動拠点:主に関東 代表者:阿部重利

1. 活動目的と概要

代表的な経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」等に対し、中小企業がどんな課題・問題に対峙しているか、その克服策・解決策を、座学や取材を通して探っていきます。従前の「中小零細企業研究会」の目的を引き継ぎ、新たにその経営資源について多角的に研究をすすめ、中小企業の発展ひいては日本再生の一端を担います。将来的には中小企業「省」の設立等、ステークホルダーの"ハピネス"を夢見て、志し高く、そして時にはワイガヤと情報交換・発信に努めてまいります。

○経営資源の

- ・ヒト⇒国が「働き方改革」などと言うずっと前から研究を続けている「ワークライフバランスを超えたワークライフハピネス」の追求で、イキイキ社員 10 倍増計画を進めます。
- ・モノ⇒ものづくり補助金の獲得なども含めた、補助金・助成金の研究も進めます。
- ・カネ⇒マイナス金利下における、中小企業金融の研究やハイパーインフレや スタグフレーションを見越した資産防衛についても考えていきます。

2. 活動内容と活動履歴

- ・2017年2月18日 (土) 第20回 NSP 時局ならびに日本再生戦略講演会 代表の阿部が「健康経営について」考えると題して講演、メンバーの榎本が 「わが国の財政問題を皆さんと学ぼう」と題して講演を行いました。
- ・2017 年 6 月 10 日 (土) 第 24 回 NSP 時局ならびに日本再生戦略講演会 浜野慶一さん (株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO) をゲスト講師とし てお招きした「町工場の挑戦!」勉強会・後半のパネラーとして、代表の 阿部と榎本が登壇し、健全経営・健康経営、これからの日本の製造業・中 小企業の課題や展望について参加者の皆さんと理解を深めました。

・2017年9月2日(土)

『ものづくり探求』と『ハピネス探求』楽しい初秋の浜の旅@キリンビール横浜工場

- ・五感をフルに使ったキリンビール横浜工場見学 研究員目線で体感できる『ノミモノラボ』にて、モノづくりの楽しさと ノミモノの無限の可能性をビール醸造や容器の研究員の目線で体験。
- ・横浜から始まる日本のビールの歴史を体感できる SVB YOKOHAMA たまり場日本の『ものづくりへのこだわり』とその奥にある『ハピネス』探求の旅、工場見学を通して感じたこと、気づいたこと、究極のものづくり、ハピネスについての語らい。

〈第7号 新月の五風十雨〉 活動拠点:山梨 代表者:向山邦史

平成28年3月より、毎月巡ってくる新月の夜を中心に歓談、懇親、宿泊、翌日は 地元の歴史や文化などを探索したり、その時期に合わせた農作業などのワークショップを中心に行動しています。

{LOHAS を具体的にどう実現させてゆけるか}が、最大のテーマです。

劣化してゆくばかりの地球環境や、身近に様々ある大小の問題に対して、それぞれが感じていること、こうしたいと考えていることなどを言葉にして話すことで、その時ではなくてもいつのまにやら解決法が見つかったり、何となく話題になっていたことが実現性を帯びてきたりという、本来の緩やかな「たまり場」てきなことも散見されてきています。思ったことは実現するということだと考えております。

農業をすることにより生活の基本である食べることの自給自足をベースにしておりますので、多くの話題はここに集中しています。NSPでは健康がこれからのテーマになってゆきますが、その基本は安全、安心な食であり、健康な体をつくる食であると考えます。

無農薬、化学肥料を使わない農法が中心で、高嶋博士の複合発酵の EMBC も稼働をはじめていますので、農業環境、土壌環境の改善にも変化が現れれることを期待しています。

さらにはグローバル経済が崩壊した後の受け皿として、菜園付き週末別荘である ダーチャの考え方を何とか広めたい、具体例をこの1~2年でつくるつもりです。 (28年中に2棟の10㎡の小屋がすでに完成しています)

今年からの新たな取り組みとして、小学生の子供たちが、自分たちで考えて行動してゆく「子供田んぼ」「子供畑」をスタートさせました。子どもたちが自ら発案、決定、行動に移してゆくもので、大人は静かに見守りながら、失敗も、成功も本人たちがつくってゆくものです。将来に向かっての一つの布石と思っています。



<第8号 鹽竈の光を観る旅> 活動拠点:宮城鹽竈 代表者:樋口敬子

東日本大震災・福島原発事故、この大災害を風化させないため、未来を創るため、地震が起きた|津波が押し寄せた現場のこれまで今、これからの状況を自分たちの足で歩き、目で観て、地元の方々の生の声を聴いて、復興の息吹を心から体感する旅を続けています。

活動内容・活動履歴

2011年(平成23年)9月より、年に一度、春夏秋冬の宮城を肌で感じる1泊2日の旅を続けています。自分たちらしく東日本大震災と丁寧に向き合う48時間です。

自然との共生、歴史との共生、文化・伝統との共生を大切に、鹽竈(しおがま)の良さが引き立つ復興を進めている現場にて地元の方々と交流し、たまり場メンバー同士語り合い、各々の地域の戻り、「いつか、そのうち」ではなく、「今から」できることとして、日々の生活で参考となるさまざまなヒントや勇気を得る、共有する機会を創っています。

◎第7回 2017年7月22日(土)~23日(日)

2011年(平成23年)9月、2012年(平成24年)4月、2013年(平成25年)2月、2014年(平成26年)11月、2015年(平成27年)9月、2016年(平成28年)7月の旅の記録と記憶とともに、今年は7月後半・梅雨明け前の宮城を肌で感じてきました。

*1日目 | 貸切小型バスにて、石巻市・南三陸町・鹽竈市へ

- ・鹽竈市出身の矢部亨さん(茶匠 矢部園茶舗 代表取締役)から全体のご案内
- ・7回連続同じ運転手の小野さん(株式会社仙塩交通)
- ・後藤宗徳さん(石巻グランドホテル社長)から石巻市のご案内
- ・阿部忠彦さん(南三陸志津川さんさん商店会会長)から南三陸町のご案内
- ・鹽竈の美味しい食事をいただきながらのたまり場

*2日目 | 歩いてゆっくりめぐる鹽竈観光

- ・塩釜仲卸市場見学(食事)・志波彦神社参拝、鹽竈神社参拝、鹽竈神社博物館見学
- 矢部さんのお茶をいただきながらのたまり場





<第9号 ソーシャルデザイン研究会>

活動拠点:主に東京・茨城(笠間)・岡山 代表者:山中茂樹

ソーシャルデザイン研究会は、旧 LOHAS ジャパン研究会をベースに、自分たちが楽しく・ワクワクする活動を通して、持続可能な社会の実現を目指し地域・日本 そして世界が抱える社会的課題の解決につながることを実践し共有するたまり場です。

一人一人の想いと行動が、社会を変革する可能性を秘めていることを実感でき、 そして実践できるコミュニティを目指したいと考えています。

来期は茨城県笠間市の農園と場を活用してのたまり場開催、そして全国各地への 視察や地方(岡山)での拠点作りも始動する予定です。

1. 活動概要

- ・最新の世界の IT 技術動向(ブロックチェーン等)の勉強会・実践会
- ・新しい科学技術系(発酵技術を応用した農や振動圧栽培等)の勉強会・実践会
- ・全国各地の地域の持続可能な社会につながるさまざまな取り組みの視察及び見学会

2. 今後の活動予定

- ・2ヶ月に一回程度の勉強会
- ・茨城県笠間市の農園や場を活用してのたまり場開催



9. ソーシャルメディア部

世界各地、全国各地の会員さんとヨコにつながりながら活動をしていくために、 NSPではさまざまソーシャルメディアをツールとして活用し、定期的に情報公開・ 活動記録・交流の場を発信しております。

・NSP ホームページ | https://nipponsaisei.jp/



• 健康立国ホームページ | https://peraichi.com/landing_pages/view/nipponsaisei



健康立国とは 健康イノベーション、3本の柱 お知らせ 情報提供フォーム お問い合わせ このサイトについて





- YouTube チャンネル | https://www.youtube.com/c/日本再生チャンネル nsp
- Facebook ページ | https://www.facebook.com/nipponsaisei/
- twitter | https://twitter.com/nipponsaisei
- Vimeo チャンネル | https://vimeo.com/nipponsaisei
 一般公開動画(2010年~2014年分)および会員限定公開動画がアップされています。

5. その他

<NSP へようこそ!仲間を募集中!>

皆様の周りに、私たちの活動にご賛同頂ける方はいらっしゃいませんか? NSPではご賛同頂ける会員さんを募集しています。

- ・私の手とみんなの手で、日本を元気にしたい!再生したい!
- たまり場をつくって、みんなとワイガヤしたい!
- ・一歩踏み出して、行動してみたい!

などなど

想いを共有したい方、熱い想いをお持ちの方、大歓迎です!

会員種別

	個人賛助会員	個人正会員	法人賛助会員	法人正会員
議決権		0		0
イベント優待人数	会員限り	会員限り	2名様まで	2名様まで
年会費	5,000 円以上	10,000 円以上	7,000 円以上	20,000 円以上

- *入会費はございません。
- *NSPの事業年度 | 10月1日~9月30日です。

会員特典

- ・会員限定メーリングリストを定期的にお届けいたします。 (藤原理事長・各理事・事務局からのお知らせ)
- ・勉強会、研修、イベント参加費のご優待をいたします。
- ・勉強会、イベント等のアーカイブ動画|音声、会員限定公開を提供いたします。
- ・毎年度の活動記録冊子をお届けいたします。

会員入会・更新申込

◎申込書記入の場合

・同封の申込書をご記入いただき、NSP 事務局まで FAX (03-6866-8614) もしくは、E-mail (staff@nipponsaisei.jp) 添付ファイル (pdf) にてお送りください。

◎会員申込フォーム入力の場合

- ・NSP ホームページ内の【会員申し込みフォーム】または【会員更新フォーム】を ご利用ください。
- ・事務局より自動返信メールをお届けいたします。あらかじめ【@nipponsaisei.jp】 ドメインの E-mail が受信できるように、各種設定をお願いいたします。
 - *Yahoo!メール、Gmail など Web メールをご利用の場合、フィルタ機能によって 迷惑フォルダに分類される場合がございますのでお気をつけください。

○郵便振替

振替口座 | ゆうちょ ATM・ご自身のゆうちょ銀行口座からの送金

口座記号:00280-3 口座番号:70910

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

*ゆうちょキャッシュカードで ATM から送金の場合、手数料無料(1ヶ月3回まで)です。

(2017年8月時点)

他金融機関からの振込用口座|

金融機関:ゆうちょ銀行 支店名:○二九店(ゼロニイキュウテン)

*ATMご利用の際は、支店名「セ」をお選びください。

種別: 当座 口座番号: 0070910

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

○銀行振込

金融機関:三井住友銀行 支店名:日比谷支店 種別:普通 口座番号:8109166

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

(トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンサイセイプログラムスイシンフォーラム)

*郵便・銀行振込手数料は、ご負担いただきますようお願いいたします。

- ・ご入会が初めての方には、年会費入金確認が完了次第、事務局よりご連絡いたします。
- ・会員更新の方は、年会費銀行お振り込みもしくは事務局への直接お支払いをもって、 【更新】の完了となります。
 - *入金確認が必要な方、領収書が必要な方は、事務局までご連絡ください。

<ご寄付のお願い>

日本再生プログラム推進フォーラムをご支援ください。 皆様一人ひとりのお力添えが必要です!

日本再生プログラム推進フォーラム(NSP)では、公認たまり場の活動、定期開催している時局ならびに日本再生戦略講演会、視察、インタビュー、事務局の運営等々、様々な活動を行っています。そして、活動の原資は会員の皆様の会費や寄付金によって賄っています。したがって、当団体は皆さまからのご支援なしでは活動を続けることができません。私たちの活動をぜひ応援して下さい。

ご寄附いただきました個人・法人様には、寄付金領収書を毎年 12 月末に事務局より郵送いたします。

日本再生プログラム推進フォーラムへのご寄付は、認定 NPO 法人への寄付となり、 税制優遇(寄付控除)が受けられます。※

○郵便振替

振替口座 | ゆうちょ ATM・ご自身のゆうちょ銀行口座からの送金

口座記号:00280-3 口座番号:70910

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

*ゆうちょキャッシュカードで ATM から送金の場合、手数料無料 (1ヶ月3回まで)です。

(2017年8月時点)

他金融機関からの振込用口座 |

金融機関:ゆうちょ銀行 支店名:○二九店(ゼロニイキュウテン)

*ATMご利用時に、支店名「セ」をお選びください。

種別: 当座 口座番号: 0070910

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

○銀行振込

金融機関:三井住友銀行 支店名:日比谷支店 種別:普通 口座番号:8109166

口座名:特定非営利活動法人 日本再生プログラム推進フォーラム

(トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンサイセイプログラムスイシンフォーラム)

○郵便・銀行振込手数料は、ご負担いただきますようお願いいたします。

※個人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合

個人が認定・仮認定 NPO 法人(以下、認定 NPO 法人等)に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合には、 所得控除又は税額控除のいずれかを選択適用できます。また、都道府県又は市区町村が条例で指定した認定 NPO 法人等に個人が寄附した場合、個人住民税(地方税)の計算において、寄附金税額控除が適用されます。

・具体的には?

個人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、所得税(国税)の計算において、寄附金控除 (所得控除) 又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得 税の控除を受けることができます。

所得控除

その年中に支出した寄附金の額の合計額から2千円を控除した金額を、その年分の 総所得金額から控除できます。

※法人が認定・仮認定 NPO 法人に寄附した場合

法人が認定 NPO 法人等に対し、その認定 NPO 法人等の行う特定非営利活動に係る事業に関連する寄附をした場合は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、 特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

なお、寄附金の額の合計額が特別損金算入限度額を超える場合には、その超える部分 の金額は一般寄附金の額と合わせて、 一般寄附金の損金算入限度額の範囲内で損金算 入が認められます。

・具体的には?

特別損金算入限度額の適用について 法人が認定 NPO 法人等に寄附をすると、一般の NPO 法人に寄附した場合の一般損金算入限度額とは別に、別枠の特別損金算入限度 額が設けてられており、その範囲内であれば損金の額に算入することが認められます。

(内閣府 NPO ホームページより)



<お問合せ・連絡先>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム (NSP) 〒130 - 0026 東京都墨田区両国 3 丁目 25 番 5 号 JEI 両国ビル 3 階 TEL | 03 - 3633 - 8631 FAX | 03 - 6866 - 8614 E-mail | staff@nipponsaisei.jp